

瀧見忠水 たきみ 編輯者、詩人。明治八年十一月八日水城縣古河生れ、

昭和二十年十一月二日歿（一八七五—一九四五）。本名久太郎。別號止水。江

戶後期の瀧學者瀧見泉石は曾祖父に當る。明治二十八年東京專門學校

に入学。二十四年雜誌『明星』第十一號に短歌十一首を發表、爾後雜

誌『小紫舟』、『文庫』、『新古今文林』等に新體詩、小説を發表。二

十九年國木田獨步經營の獨歩社に入社、『近世畫報』の編輯を擔當。

翌年獨歩社の倒産と同時に東京社を創設、『婦人畫報』の發行を繼續

した。大正十一年倉橋惣三と編輯顧問として『ユダモノケ』を創刊、

北原白秋、野口雨情、中山善平等を關はり、幼年雜誌の『大勢力』を

つた。昭和六年東京社を退き、九年倉橋を顧問に子供の天地社を興し、

『ユダモノケ』を發行。疎麻丸の郷里に死す。